37 01 07 01 02 007

事務事業評価表

1．基本事項

作成日　令和04年01月25日（火）

事務事業	中小企業融資あっせん事業	担当課	商工振興課	担当係	商工振興係	管理番号	3725
第２次総合計画		事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務 →	対象拡大 有□ サービス拡充 有□		
行政計画分野別施策名 大項目	200003 活力とにぎわいにあふれるまち（産業振興）	根拠法令個別計画等	深谷市中小企業緊急運転資金貸付要綱 深谷市中小企業近代化経営資金融資要綱 深谷市小口融資あっせん規則 深谷市小口融資制度完済奨励金交付要綱 深谷市小口資金保証制度特別枠要綱				
中項目	200002 雇用とにぎわいを生み出すまちづくり						
小項目	200001 商工業の振興						

事業概要	市内中小企業の経営安定化を図ることを目的に、市内金融機関に対し預託し、預託金の７倍の金額の範囲内で、融資限度額２，０００万円、返済期間１年～１２年以内の融資のあっせんを行う。令和２年度は新型コロナウイルス感染症の影響に対応するため小口資金特別枠（渋沢まごころ資金）を実施した。
目的 ※何のために	市内中小企業の経営安定化を図るため
対象 ※誰・何を対象に	市内中小企業者
手段 ※どのように	低利率での融資あっせんを行う（預託金額７倍の範囲内、融資限度２，０００万円）
成果 ※何を求めるか	市内中小企業の緊急的な資金需要に対応することができる
執行体制	■ 市職員　□ 一部委託　□ 全部委託　□ 指定管理　□ 市民ボランティア　□ ＮＰＯ民間団体　■ その他（市内金融機関）

事務事業を構成する予算事業

会計区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
一般会計	07	商工費	01	商工費	02	商工業振興費	中小企業融資あっせん事業	67,879,256
	00		00		00			0
	00		00		00			0
	00		00		00			0
	00		00		00			0

本事業の主な業務

・ 制度融資の周知ＰＲ	・ 代位弁済による損失補償金の支出
・ 制度融資預託金の支出	・
・ 制度融資預託金の回収	・
・ 制度融資あっせん事務	・
・ 完済奨励金の申請受付	・
・ 完済奨励金の交付	・

2．事業費（投入コスト）

単位：円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画		融資あっせん	融資あっせん	融資あっせん	融資あっせん	融資あっせん	融資あっせん
事業費	予算（現額）	75,409,000	64,984,000	49,281,000	82,764,000	82,332,000	78,263,000
	決算額	39,803,238	31,745,128	23,324,670	67,879,256	0	0
財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	他特定財源	73,869,000	31,282,000	23,052,000	66,703,000	78,420,000	72,253,000
	一般財源	0	463,128	272,670	1,176,256	3,912,000	6,010,000
人件費	従事職員数（人）	0.34	0.54	0.43	0.82	0.52	0.52
	人件費相当試算 ※１	2,644,860	4,202,280	3,485,150	6,671,520	4,230,720	4,230,720
		0	0	0	0	0	0
（総事業費試算）		76,513,860	35,947,408	26,809,820	74,550,776	86,562,720	82,493,720

※１　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

３．評価指標

グラフ表示	区分	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標なし
		年度別目標値の設定根拠									
		実績値の出所・算出式									
□	活動指標１	提携金融機関数	目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	□
			実績値		100.00	100.00	100.00	100.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		提携可能な市内金融機関（現在１４機関）すべて							
		当該年度末日実績									
□	成果指標１	公的な融資制度のうち市の融資制度を活用した企業の割合	目標値	%							■
			実績値		0.00	0.30	0.00	16.42	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		深谷市の融資あっせん事業は、国県を含めた上での最後のセーフティネットとの位置づけ							
		市の融資制度活用件数／公的な融									
■	成果指標２	預託金額	目標値	千円							■
			実績値		39,578.00	31,282.00	24,568.00	66,703.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		深谷市の融資あっせん事業は、国県を含めた上での最後のセーフティネットとの位置づけ							
		当該年度末日実績									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									

４．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　－：目標値の設定がないもの）

活動 （意図した活動を行っているか）	B	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 市内関係金融機関の協力を得ながら、進めることが出来ている。
成果 （意図した成果が上がっているか）	A	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 新型コロナウイルス感染症の影響に対応するため、小口資金に特別枠（渋沢まごころ資金）を設けた。今年度の増はこの特殊要因によるものだが、事業者の資金需要に応えることが出来た。
効率性 （効率的に事務を行っているか）		目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明

評価者	商工振興係長　関口　真

５．前年度改善改革プラン達成状況

前年度 改善・改革案	令和２年３月ごろより新型コロナウイルス感染症の影響による事業所の資金需要の高まりが感じられる。国、県も既存の枠組みの中でその対応をするのだろうが、深谷市も小口資金の特別枠として対応していく。
達成状況 及び その効果	令和２年４月１３日から令和２年９月３０日までの受付期間で、新型コロナウイルス感染症の影響に対するため小口資金特別枠（渋沢まごころ資金）を実行した。４５件３４３，８００千円の融資実行が行われた。

事務事業評価表

６．所属長評価（今後の方向性）

事務事業	中小企業融資あっせん事業	担当課	商工振興課	担当係	商工振興係	管理番号	3725

■ ① 現状のまま継続
□ ② 見直して継続 → □ 委託化等の検討 / □ 成果向上のための改善 / □ 効率化のための改善 / □ 事業規模の縮小 / □ 他の事務事業と統合
□ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
□ ④ 目的達成による終了
□ ⑤ 廃止を検討

評価の内容説明

新型コロナウイルス感染症の影響による事業者の資金需要に答えるため、令和２年４月１３日から令和２年９月３０日までの受付期間で、小口資金特別枠（渋沢まごころ資金）４５件３４３，８００千円の融資を行った。しかし、途中から国によるさらに手厚い制度が開始され、市の制度の利用は抑えられた。現在も国による制度が継続しているため、現状維持で継続とする。

評価者	商工振興課長　岩田　展雄

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

７．改善改革プランと今後の課題

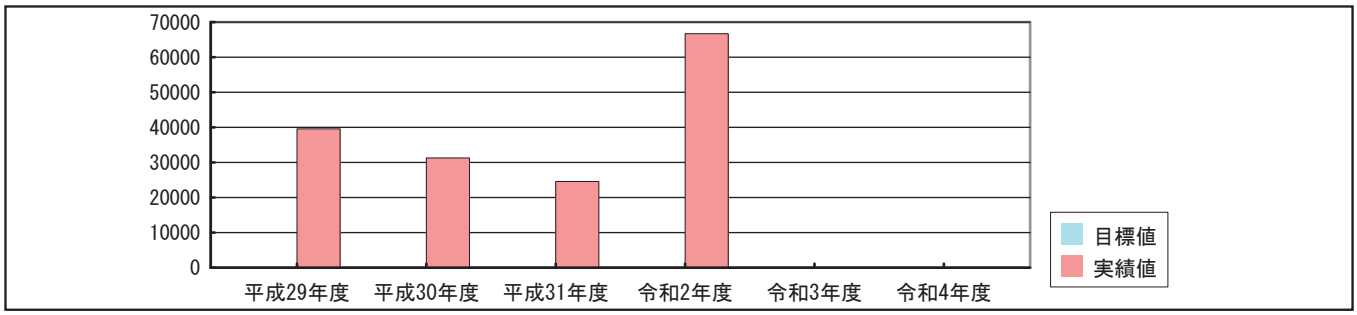
改善・改革案	事業者の資金需要に対応する手段としては、国が支援を行っており、現在市においては特別の支援枠は設けていない。

８．今後の課題（年度別計画等により実施する取り組み等）

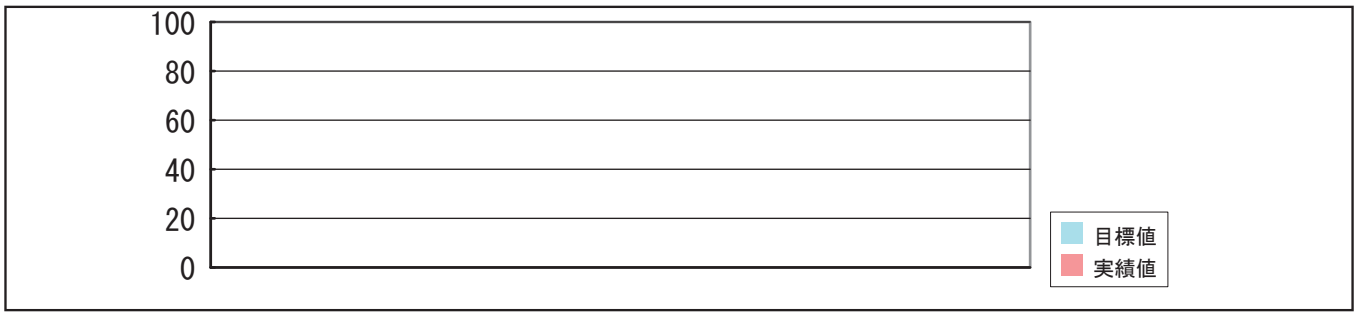
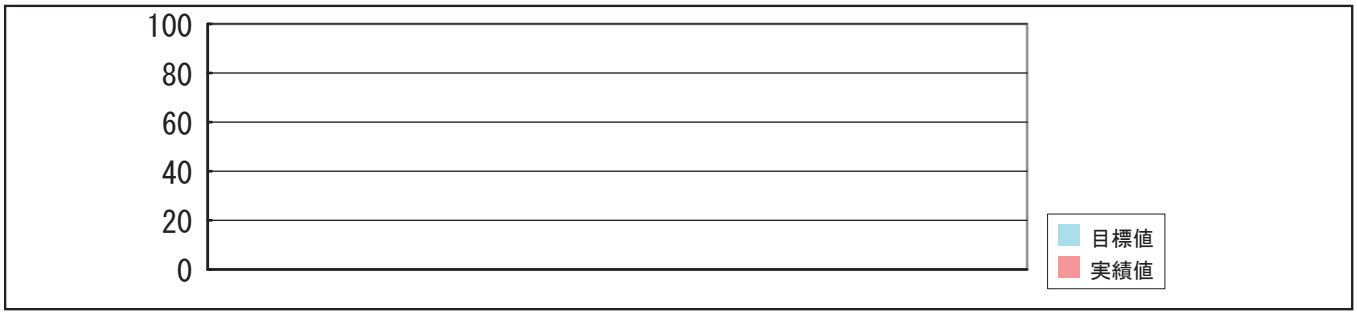
今後の課題	新型コロナウイルス感染症の影響による事業者の資金需要に対しては、国が制度を用意している。制度融資としては十分な内容の為、新型コロナウイルス感染症に対応するための制度融資、小口資金特別枠（渋沢まごころ資金）の運用を含む通常の制度融資を継続していく。

９．評価指標グラフ

区分	成果指標２	指標名	預託金額



区分		指標名	



区分		指標名